



公益財団法人

九電みらい財団

ずっと先まで、明るくしたい。

九州の未来のために。
豊かな自然環境と
子どもたちが輝く未来を。

「九電みらい財団」は、
九州の未来を「ずっと先まで、明るくしたい。」という思いから、
豊かな自然を守り続けること、子どもたちが輝くみらいにつなげていくことを
目的に設立された財団法人です。
環境活動と次世代育成支援活動を通じて、
九州の皆さまと一緒に、よりよい九州の未来を創っていきます。

「公益財団法人九電みらい財団」として新たにスタート!!

社会を取り巻く環境が大きく変化する中、社会課題の解決に一層貢献できる事業に
取り組み、豊かな社会の実現を目指していくため、一般財団法人九電みらい財団は、
2021年4月1日をもって、公益財団法人九配記念育英会と合併し、
「公益財団法人九電みらい財団」として新たにスタートしました。

「九電みらい財団」の取組み



九電みらい財団は SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



くじゅう九電の森での“環境教育”

森の役割を学ぶ。 自然を大切にできる心を育む。



【住所】大分県由布市湯布院町川西

くじゅう九電の森まで(車)				
福岡	太宰府 I.C	鳥栖 JCT	湯布院 I.C	合計 1時間50分
北九州	小倉東 I.C	日出 JCT	湯布院 I.C	合計 2時間00分
熊本	熊本 I.C	鳥栖 JCT	湯布院 I.C	合計 2時間20分
大分	大分 I.C	日出 JCT	湯布院 I.C	合計 1時間00分

子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の九州の環境保全につなげることを目的として、体験型の環境教育を行っています。これまでのべ97回開催し、約6,000名にご参加いただいています(実施時期:4~11月)。



森の教室(森の講話、森の役割実験など)



散策路(森林観察)

「くじゅう九電の森」とは?

水力発電に必要な水を安定供給するための「水源涵養林」として、九州電力が大切に守り育ててきた社有林。2019年には育成100周年を迎えました。多くの動植物が暮らすとても豊かな森です。

パーツの1つ1つに地元小学生の森への想いが込められています。



100周年記念モニュメント

くじゅう九電の森での環境教育の詳細はHPをご覧ください。
(<http://www.kyuden-mirai.or.jp/environments/forest/>)



基本プログラム

森の講話で学んだことを体験を通じて実感し、理解を深めていただけます。

森の講話 (40分)

地球温暖化の現状や森の役割等について学びます。また、森の役割を確認するための実験も行います。



講話から体験へ

体験① 林業体験 (60-90分)

森を適切に管理するために必要な「間伐」や「植樹」を体験します。
※雨天時は丸太切り体験も可



体験② 木工教室 (60-90分)

間伐材を使った木工教室です。鉛筆や黒板などを手作りし、森で過ごした思い出とともに持ち帰ることができます。



体験③ 森林観察 (60-90分)

森の中を散策しながら、生物多様性や木の生長について学びます。



- 基本プログラムの滞在時間の目安は、10~15時(5時間)で、学校のご希望によりスケジュール調整が可能です。
- 対象は小・中・高・大学生で、学年に応じたプログラムを実施。主に自然教室や総合学習の授業として活用いただいています。プログラムは柔軟に対応可能なためお気軽にご相談ください。
- 親子を対象としたイベントも開催しています。

デジタル環境教育(出前形式:45分×2コマ)

学校にしながら「くじゅう九電の森での環境教育」を体験できます。

VR(バーチャルリアリティ)やCG動画などのデジタル技術を活用し、“学校にしながら”くじゅう九電の森を体験できる新しいプログラムです。季節や天候に左右されることなく、臨場感あふれる環境教育を提供します。

1コマ目 講話

地球温暖化の現状や森の役割等について、講話と動画で学びます。



2コマ目 体験

オンラインコミュニケーション

教室とくじゅう九電の森をインターネットで接続し、林業の専門家とのオンラインコミュニケーションを行います。



VR

VRを活用し、くじゅう九電の森での林業体験や森林観察を疑似的に体験します。



くじゅう坊ガツル湿原一帯での環境保全活動

湿原の環境維持。 美しい自然を後世に。

くじゅう坊ガツル湿原周辺の景観や生態系を維持するため、地域の皆さまと一緒に環境保全活動に取り組んでいます。

くじゅうの
来訪者は年に約590万人
登山者は年に約11万人
です。

くじゅう坊ガツル湿原は、
国際的に重要な湿地として
ラムサール条約に
登録されています。

くじゅう坊ガツル湿原一帯での環境保全活動の詳細はHPをご覧ください。
(<https://www.kyuden-mirai.or.jp/environment/wetland/>)



坊ガツル湿原(夏)



平治岳に咲く(ミヤマキリシマ)

野焼き活動 8-3月

かんぼく
灌木や雑木を焼き払い、害虫を駆除し、植物の新しい芽吹きを促すことで、湿原の環境を維持しています。地元団体、企業のボランティア、九電グループの社員らが参加して行っています。



輪地切り(8月)



輪地焼き(9月)



野焼き(3月)

坊ガツル湿原

希少植物保護活動

7月

絶滅の危機に瀕している植物の生態系を守るため、人や動物により持ち込まれた外来植物を根から抜きとる作業を行っています。



外来植物の駆除



コオニユリ

ハナショウブ

平治岳
ひいじだけ

ミヤマキリシマ植生保護活動および 登山道整備活動 4・11月

くじゅうエリアの春の風物詩であるミヤマキリシマ(大分県準絶滅危惧種)を守るため、平治岳において生育の支障となる灌木を伐採するほか、あわせて登山道の整備も行っています。



灌木の伐採作業



登山道整備活動



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けていました。

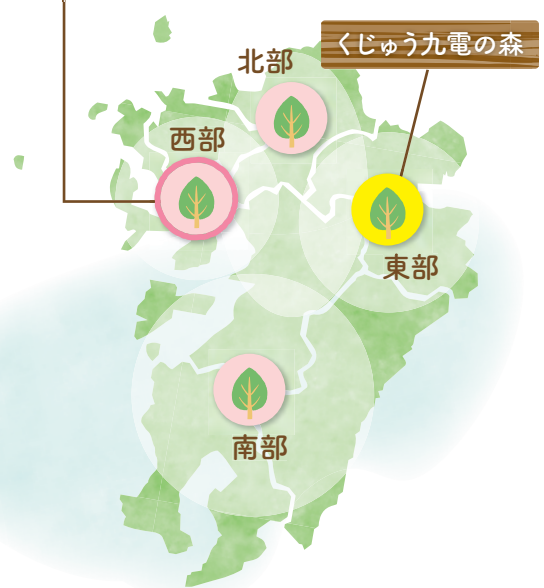
九電みらいの森プロジェクト

環境教育や市民交流の拠点となる森づくり。

環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指して地域との協働による植林に取り組み、地域の皆さまと一緒にカーボンニュートラルに取り組んでいくことを目的とした「九電みらいの森プロジェクト」。

くじゅう九電の森(大分県)で当財団が実施している環境教育や環境保全活動を九州全域に拡げていきます。

いさはや九電みらいの森



いさはや九電みらいの森

～ 四季の彩りと緑がひろがる 未来に繋げる森づくり～

「九電みらいの森プロジェクト」の第一弾として、2022年1月に諫早市、長崎県と企業の森づくり協定を締結し、長崎県諫早市にて「いさはや九電みらいの森」の整備を始めました。



地域との協働による植林活動



【植林を通じた環境教育のフィールド】



【市民交流の拠点となる憩いの森】



「九電みらいの森プロジェクト」の活動詳細はHPをご覧ください。
[\(https://www.kyuden-mirai.or.jp/environment/planting/\)](https://www.kyuden-mirai.or.jp/environment/planting/)





環境分野における次世代育成支援活動

みらいの九州を支える 子どもたちのために。



九州の豊かな自然環境をみらいにつなげることで、子どもたちの体験活動を通じた健やかな成長を目的として、九州各地の諸団体が取り組む「子どもたちの自然を大切にする心を育む活動」への助成事業を行っており、2022年度は14団体に対し、総額780万円を助成することを決定しました。

【募集する活動】

子どもたちの自然を大切に
する心を育む活動

【助成金額】

1件あたりの上限金額
100万円

助成件数
10件程度

【助成対象団体】

九州地域で活動する
非営利団体

(法人格の有無は問いません)

原則として、応募の日までに1年以上にわたり継続的に活動していること等の要件があります。



過去の助成実績

【2021年度】

募集テーマ

- 子どもたちの自然を大切にする心を育む活動

助成実績

- 11団体
- 総額約640万円

助成事業の詳細はHPをご覧ください。
(<http://www.kyuden-mirai.or.jp/support>)



【2016～2020年度】

募集テーマ

- 子どもたちへの支援活動
体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識などを育むこと、及び九州地域を大切にする子どもの育成を目的とした活動
- 子育て世帯への支援活動
共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化など、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動

助成実績

- 108団体
- 総額約7,140万円

ご支援のお願い

九電みらい財団は、皆さまのご協力により諸活動に取り組んでいます。

活動を継続的にやり、より一層の充実を図るためには、さらに多くの方のご支援とご協力が欠かせません。当財団の趣旨にご理解とご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【ご寄附】

- 特定非営利活動法人CANPANセンターが運営する「CANPAN決済サービス」を利用してお申し込み頂き、クレジットカード(VISA、MASTER、JCBほか)で決済させていただきます。
- なお、ご利用にあたり、簡単な登録手続き(氏名、住所、電話番号、生年月日、メールアドレス等)が必要です。

【個人の方】 ①都度寄附:1回 1,000円
②継続寄附:1回 1,000円
(毎年4月引落し)

【法人の方】 1回 100,000円

ご寄附の方法につきましては、当財団ホームページの「寄附のお願い」ページをご覧ください。
(<http://www.kyuden-mirai.or.jp/contribute/>)



【みらいの森を育てようプラン】



- 毎月の電気料金にあわせて、当財団への寄附金300円をお支払いいただく九州電力株式会社の電気料金プランです。



みらいの森を育てようプランの詳細は、九州電力(株)のHPをご覧ください。
(https://www.kyuden.co.jp/user_menu_plan_mirainomori.html)



これまでの歩み

- 1954年 財団法人九配記念育英会 設立
- 2013年 公益法人制度改革に伴い、「公益財団法人九配記念育英会」に移行
- 2016年 一般財団法人九電みらい財団 設立
- 2021年4月 九電みらい財団と九配記念育英会が合併し、「公益財団法人九電みらい財団」へ

財団概要

名称 公益財団法人 九電みらい財団

設立日 1954年8月27日

(旧 公益財団法人 九配記念育英会)

所在地 〒810-8720

福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

電話:092-982-4627 FAX:092-982-4676

代表者 代表理事 辻 慎一

(九州電力(株)地域共生本部 部長)

事業内容 九州地域に広く貢献することを目的に、豊かな自然環境の保全活動や環境教育活動、次世代向けの環境活動を支援する活動、学資の給与等を実施。

①環境活動

九州電力(株)有林のある、くじゅうエリア(大分県)を中心に取り組む環境保全活動や環境教育、植林活動

②次世代育成支援活動

非営利団体が取り組む「次世代の健全育成」に寄与する活動のうち、「子どもたちの自然を大切にすることを育む活動」を対象とした助成事業

③奨学金事業

学生(留学生を含む)の人材育成を目的に学資を給与

各種コンクールの受賞や諸団体の役職等の委嘱

「九電みらい財団」の活動は、各界から高く評価されており、環境省や林野庁等が後援する各種コンテストでの受賞のほか、諸団体の役職等を委嘱されています。

○受賞実績

〔環境保全活動〕

- ・「第6回いきものにぎわい企業活動コンテスト」会長賞(2017年度)
- ・「平成29年度日本自然保護大賞」入選(2017年度)

〔環境教育〕

- ・「Forest Good 2017～間伐・間伐材利用コンクール～」特別賞(2018年度)
- ・「生物多様性アクション大賞2018」入賞(2018年度)

○諸団体の役職等の委嘱

- ・「第5回山の日記念全国大会」実行委員会アドバイザー(2019～2021年度)

「九電みらい財団」は、九電グループ各社にご支援いただいています。

九州電力株式会社

九州電力送配電株式会社

大分エル・エヌ・ジー株式会社

大分共同火力株式会社

北九州エル・エヌ・ジー株式会社

株式会社九建

九州メンテナンス株式会社

九州林産株式会社

株式会社QTnet

株式会社キューデン・インターナショナル

株式会社九電工

九電産業株式会社

株式会社九電送配サービス

九電テクノシステムズ株式会社

株式会社九電ハイテック

九電ビジネスソリューションズ株式会社

株式会社九電ビジネスフロント

株式会社九電ビジネスパートナー

九電不動産株式会社

九電みらいエナジー株式会社

株式会社キューヘン

記録情報マネジメント株式会社

株式会社QTmedia

光洋電器工業株式会社

誠新産業株式会社

株式会社電気ビル

戸畑共同火力株式会社

西枝工業株式会社

西九州共同港湾株式会社

西日本技術開発株式会社

西日本空輸株式会社

西日本プラント工業株式会社

ニシム電子工業株式会社



公益財団法人
九電みらい財団
ホームページ



九電みらい財団
Facebook



九電みらい財団
Instagram

